

IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6.2

デルタ・フィックスパック 31 Readme

日付:2003 年 5 月 30 日

名称:3.6.2-TEC-0031

コンポーネント:IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6.2

重要:この Readme は、「IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6.2 リリース情報」に替わるものではありません。

本書および本書で説明する製品をご使用になる前に、本書の末尾にある特記事項に記載されている情報をお読みください。

第1 刷/2003.5

本書は、*IBM Tivoli Enterprise Console* (プログラム番号 5697EAS) バージョン 3、リリース 6、モディフィケーション 2 および新しい版で特に明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

©Copyright International Business Machines Corporation 2003.

All rights reserved. ©Copyright IBM Japan 2003

目次

このデルタ・フィックスパックについて

- デルタ・フィックスパックの内容
- このデルタ・フィックスパックに含まれている修正
- サポートされるプラットフォーム

インストールおよび構成

- インストールの順序
- インストールの方法
- デルタ・フィックスパック注記

特記事項および商標

このデルタ・フィックスパックについて

Tivoli Enterprise Console 3.6.2 デルタ・フィックスパック 31 には、3.6.2-TEC-0024 以降のすべての暫定修正のソリューションが含まれます。

デルタ・フィックスパックの内容

3.6.2-TEC-0031.tar ファイルの内容は以下のとおりです。

- この Readme ファイル
- このデルタ・フィックスパック用のイメージ・レポート
- このデルタ・フィックスパック用の CD-ROM イメージ

注:この Readme 文書は、現在のところ Adobe Acrobat 形式のみで提供されています。

このデルタ・フィックスパックに含まれている修正

3.6.2-TEC-0031 は、TME および非 TME の両方のすべてのプラットフォームに対して、SIS、CLI、および GUI によるインストール方法を使用してインストールされています。

レグレッション・テストでは、当該フィックスパックに含まれている、以前の保守リリース・ソリューションが、現在でも予期されたとおりに機能することが検証されています。

- APAR IY07641: デフォルトのインストール・パスが変更された場合、ACF によるアダプターの配布が正しく行われません。
- APAR IY15475: イベント・サーバーが実行中でないときに、Software Distribution イベントがキャッシュされません。
- APAR IY16030: イベント・サーバーが実行でないときに、コンソールが複数のポートを listen 状態で保持します。
- APAR IY20113: 1 次イベント・サーバーが実行でないときに、イベントが 2 次イベント・サーバーに転送されません。
- APAR IY21481: 3.6.2-TEC-0006 の適用後、tec_forward.conf ファイルに指定されている 2 次イベント・サーバーにイベントが転送されません。
- APAR IY22402: 長いリスト属性値を持つイベントがデータベースに保管されるときに、エラーが生成されます。
- APAR IY22936: wtddbspace コマンドを Informix データベースに対して実行すると、エラーが生成される場合があります。
- APAR IY24367: logfile_gencds コマンドは、PRINTF ステートメントに変数が含まれていないときに、エラー警告を出さずに .cds ファイルを生成します。
- APAR IY25330: Framework により提供される eucJP コード・セット・テーブルに問題点があるために、ローマ数字を含む DBCS イベントがイベント・サーバーで文字化けします。注: この APAR ソリューションは、非 TME アダプターにのみ適用されます。3.7.1-TMF-0093 を Framework 3.7.1 環境に適用すると、この問題を解決できます。
- APAR IY26127: 3.6.2-TEC-0006 の適用後、新たなコンソールが開きません。既存のコンソールは、アップグレード後も正常に機能しているように見えます。
- APAR IY26312: ゲートウェイがコネクションレス型で実行中のときに、ゲートウェイ・キャッシュ・ファイル tec_gateway.cache.@EventServer がフラッシュされません。
- APAR IY29810: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、ルールがコンパイルされなくなります。
- APAR IY30163: tec_rule プロセスがメモリー・リークを引き起こします。
- APAR IY30329: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、Windows NT システム上でイベント転送が機能しません。
- APAR IY30398: 「net stop」 CLI コマンドの発行後、Windows NT アダプターが停止しません。
- APAR IY30915: tecad_logfile アダプターが、-S フラグを設定して配布後、このフラグが設定された状態で始動しません。
- APAR IY31411: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、tecad_logfile.fmt ファイルの「%s*」オプションが、受信イベントのブランク・フィールドとの照合でパターン・マッチしないことがあります。
- APAR IY31542: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、Windows NT アダプターが終了し、ワトソン博士のエラーを生成します。
- APAR IY31559: EventID=0 のイベントを除外するように Windows NT アダプターを構成すると、同じソースのすべてのイベントが除外されます。
- APAR IY31847: ログ・ファイルの最終更新日時が更新されると、すべてのイベントがイベント・サーバーに送られ、この結果、イベントが重複します。
- APAR IY32921: アダプター構成ファイルで LogSources キーワードを使ってファイルを指定した後で、アダプターが始動しません。
- APAR IY34230: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、ブランドの異なる UNIX 間で wpostesmsg コマンドを使用して送られたイベントがキャッシュに入れられます。
- APAR IY34289: イベントを転送するようにルールを構成すると、tec_rule プロセスが SIGSEGV 違反を生成することがあり、この結果、イベント・サーバーが終了します。
- APAR IY35794: 3.6.2-TEC-0024 の適用後、restrict_current_event 述部が適切に戻るようにするために、無駄な処理が必要になります。
- APAR IY38299: postesmsg コマンドで送られたイベント (管理対象ノードまたは TME エンドポイント) が、BufEvtPath キーワードを使って指定されたファイルにキャッシュされ、イベント・サーバーで受信されません。
- APAR IY24014: AIX ログ・ファイル・アダプターがメモリー・リークを引き起こします。
- APAR IY27504: 無効なデータ・タイプを持つトラップの受信後、SNMP アダプターがイベントの処理を停止します。
- APAR IY30402: イベントの文字化けを回避するために、lcfid プロセスの再始動後にエンドポイント・アダプターを再始動しなければなりません。

- APAR IY38262: 非 TME の Windows NT アダプターのサイレント・インストールでは、警告を示すポップアップ・ボックスを閉じるためにユーザーの介入が必要です。

サポートされるプラットフォーム

注:

- ソフトウェア要件およびサポートされるプラットフォームについては、「Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6.2 リリース情報」を参照してください。
- Tivoli Management Framework バージョン 3.7.1 では、Linux 上で RIM ホストを構成することはできません。
- Tivoli Management Framework バージョン 3.7.1 では、HP-UX バージョン 11 上の DB2 RIM オブジェクトはサポートされません。

サポートされるプラットフォームの更新情報:

- AIX 5.1
- Solaris 2.8
- Windows 2000
- Oracle 8.1.7
- DB2 バージョン 7.1 および 7.2
- Informix 9.2
- MS SQL Server 2000 (SP3)
- Sybase 12.5

IBM Tivoli アプリケーション互換の更新情報:

- IBM Tivoli Management Framework 3.6.x、3.7.x、4.1
- IBM Tivoli Software Distribution 4.1

インストールおよび構成

インストールの順序

Tivoli Enterprise Console サーバー
Tivoli Enterprise Console コンソール
Tivoli Enterprise Console アダプター構成機能

インストールの方法

注:インストールの前に、すべてのデルタ・フィックスパック注記をお読みください。
3.6.2-TEC-0031 をインストールするために必要な前提条件は以下のとおりです。

- Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6.2
- Tivoli Enterprise Console 3.6.2 パッチ 24 (3.6.2-TEC-0024)

Tivoli Management Framework バージョン 3.7.x 環境で Tivoli Enterprise Console を使用するときには、次のサービス・リリースの使用をお勧めします。

- IBM Tivoli Management Framework パッチ 93 (3.7.1-TMF-0093)
詳細については、APAR IY25330 の説明の後の注を参照してください。

すべてのサービス・リリースは、以下の IBM/Tivoli サポート FTP サイトから入手できます。
[ftp.software.ibm.com/software/tivoli_support/patches](ftp://ftp.software.ibm.com/software/tivoli_support/patches)

注:カスタム構成を維持するために、あらかじめ以下のファイルのバックアップをとり、このデルタ・フィックスパックが正常にインストールされた後で復元してください。

- **.tec_config**
- **すべてのカスタマイズ・フォーマット・ファイル**
- **Tivoli Object Database**

(Object Database は、インストール中に現在のデータベースが壊れた場合にのみ復元してください。)

重要:

- このデルタ・フィックスパックをインストールする前に、「Tivoli Enterprise Console バージョン 3.6 リリース情報」に指定されている最小要件を満たす必要があります。
- このデルタ・フィックスパックを適用する前に、イベント・サーバーを停止してください。

1. フィックスパックを抽出します。

UNIX システムの場合:

下記のコマンドを使用して、内容を一時ディレクトリーに抽出します。この例では、変数 \$PATCH にこの一時ディレクトリーが指定されているものとします。

```
cd $PATCH
tar -xvf 3.6.2-TEC-0031.tar
```

Windows システムの場合:

下記のコマンドを使用して、内容を一時ディレクトリーに抽出します。この例では、変数 %PATCH% にこのディレクトリーが指定されているものとします。また、X は %PATCH% のあるドライブのドライブ名です。

```
%SystemRoot%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env
X:
> cd %PATCH%
> tar -xvf 3.6.2-TEC-0031.tar
```

注:Windows システムで tar イメージを抽出する場合には、Windows の TME がインストールされているディレクトリーに、tar ユーティリティーの実行可能ファイルがあります。このファイルには、下記のパスでアクセスできます。

bin/w32-ix86/tools/tar.exe

2. Software Installation Service (SIS) を使用する場合は、次の指示に従ってください。SIS を使用しない場合は、3. に進んでください。

注:SIS を使用すると、Tivoli Software がサポートするほとんどのハードウェア・プラットフォームで Tivoli Software 製品をインストールできますが、一部のハードウェア・プラットフォームでは、SIS を実行できない場合があります。SIS を実行できるプラットフォームのリストについては、「Tivoli Enterprise インストール・ガイド」を参照してください。

注:このフィックスパックを正常にインストールするには、install_product および super 許可の役割が必要です。

重要:SIS バージョン 3.7 を使用してインストールするときには、次の SIS パッチが必要になります。これは Tivoli サポート FTP サイトから入手できます。

3.7-SIS-0005

- a) Tivoli デスクトップのプルダウン・メニューから、「デスクトップ」-->「インストール」-->「Software Installation Service」を選択します。
- b) SIS が初期化され、「インストール・パスワードの取得」ダイアログが表示されます。インストール・パスワードを入力します。
- c) Tivoli イメージが含まれているダイアログで、「インストール」ボタンをクリックします。

- d) 「スプレッドシートのインストール (Install Spreadsheet)」 ダイアログで、「プロダクトの選択」 ボタンをクリックします。
- e) 「プロダクトの選択」 ダイアログで、「プロダクトのインポート」 ボタンをクリックします。
- f) ファイル・ブラウザを使用して、メディア上で「3.6.2-TEC-0031」を選択し、PATCHES.LST ファイルをダブルクリックして選択します。
- g) 「プロダクトのインポート」 ダイアログで「3.6.2-TEC-0031」を選択し、「インポート」 ボタンをクリックします。
- h) インポートが完了したら、進行状況を示すダイアログで「OK」 ボタンをクリックします。
- i) 「プロダクトの選択」 ダイアログで「3.6.2-TEC-0031」を選択し、「OK」 ボタンをクリックします。
- j) 「スプレッドシートのインストール (Install Spreadsheet)」 ダイアログで、「マシンの選択」 ボタンをクリックします。
- k) 3.6.2-TEC-0031 をインストールする 1 台以上のマシンを選択し、「OK」 ボタンをクリックします。
- l) 「スプレッドシートのインストール (Install Spreadsheet)」 ダイアログで、適切な 1 つ以上のセルをクリックします。(注:これにより、3.6.2-TEC-0031 をインストールするマシンのセルに X が表示されます。)
- m) 「インストール」 ボタンをクリックします。
- n) 「インストール・アルゴリズム」 ダイアログで、使用するインストール・アルゴリズムを選択し、「OK」 ボタンをクリックします。
- o) 「スプレッドシートのインストール (Install Spreadsheet)」 ダイアログで指定したインストールが、SIS によって実行されます。
- p) インストールが完了します。後出の、インストール方法に関する追加説明のセクションを参照してください。

3. 従来の Tivoli インストール・メカニズムを使用してフィックスパックをインストールする場合は、以下の手順を行ってください。

注:このフィックスパックを正常にインストールするには、install_product および super 許可の役割が必要です。

- a) Tivoli Desktop ツールバーから「デスクトップ」->「インストール」->「パッチのインストール」を選択します。「パッチのインストール」ダイアログが表示されます。
- b) 「メディアの選択」 ボタンをクリックします。「ファイル・ブラウザ」ダイアログが表示されます。
- c) 「パス名」フィールドに、フィックスパックを含んでいるディレクトリーへのパス、つまり \$PATCH を入力します。
- d) 「メディアの選択 & クローズ」 ボタンをクリックして、「パッチのインストール」ダイアログに戻ります。
- e) パッチ・インストール・リストに、フィックスパックの名前が表示されます。フィックスパックをクリックして選択します。
- f) このフィックスパックをインストールするクライアントを選択します。フィックスパックは、通常は Tivoli サーバーおよび各 Tivoli クライアントにインストールする必要があります。
- g) 「インストール」 ボタンをクリックして、フィックスパックをインストールします。

4. フィックスパックのインストールが正常に完了したら、イベント・サーバーを再始動します。

5. すべての ACF アダプターおよび tec_gateway プロファイルを再配布します。

デルタ・フィックスパック注記

- オペレーティング・システム固有のコマンドについては、オペレーティング・システムのリファレンス・マニュアルを参照してください。
- 間違った環境変数が設定された状態で UNIX システム上のアダプターが始動された結果、一部のイベントの破損を招くことがあります。この状況が発生するのは、アダプター初期化スクリプトによって環境変数が更新される前に、アダプター・プロセスが開始した場合です。(APAR IY30402)
対応策 : lcfid.sh スクリプトおよび init.tecad_logfile.sh スクリプトを編集し、以下の行を組み込んでください。

```
unset LC_MESSAGES
```

- アダプターが正常に動作するように、アダプター構成ファイルの最終行の後に必ず復帰を挿入してください。これを行わないと、この行が処理されません。(APAR IY44220)

- すべての UNIX アダプターおよび Windows アダプターについて、新しいアダプター構成ファイル・キーワードが使用できます。**NewLogBasedOn** キーワードは、どのようなときに監視中のログ・ファイルが新規ログ・ファイルであると見なされるかを制御します。新規ログ・ファイルであると見なされると、すべての項目がアダプターにより処理されます。デフォルトでは、アダプターはファイル・サイズが小さくなった場合にのみ、ファイル全体を処理します。以下の値を使用することができます。(APAR IY31847)

NewLogBasedOn=[ctime | mtime | cmtime]

または

NewLogBasedOn=[CTIME | MTIME | CMTIME]

CTIME 新規ファイルであると見なされるのは、作成日時が更新されたときです。

MTIME 新規ファイルであると見なされるのは、変更日時が更新されたときです。

CMTIME 新規ファイルであると見なされるのは、作成日時または変更日時が更新されたときです。

注:これらの値はすべての Windows プラットフォームで有効です。UNIX プラットフォームの場合は、ファイルの変更日時のみがチェックされます。したがって、**MTIME** によってのみ振る舞いが変わります。

特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらの製品、プログラム、またはサービスに代えて、IBM の有効な知的所有権またはその他の法的に保護された権利を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-0032

東京都港区六本木 3-2-31

IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のために記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成し

たプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
224A/101
11400 Burnet Road
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります。単に目標を示しているものです。本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然に過ぎません。

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX OS/390 Tivoli Enterprise Console
IBM Tivoli TME
IBM ロゴ Tivoli ロゴ
OpenEdition Tivoli Enterprise

Microsoft および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。